

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成 30 年 11 月 19 日

都市名・国 神戸市

取組の名称	音で体感♪読み聞かせ「神戸空襲の記憶」
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合 (図書館、朗読ボランティア団体、地域団体)
テーマ・目的	神戸空襲の記憶や体験を次世代に継承し、命の尊さや平和を願う心を育む。
対象者 (年齢・学年、人数等)	小学校 3 年生から大人まで (参加者 21 人 子供 3 人、大人 18 人)
実施場所	神戸市立兵庫図書館
実施期間	平成 30 年 8 月 19 日 14:30~15:30
<p>取組の概要 (授業、イベントはプログラムの次第を、その他 (例: コンテスト等) はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語り 神戸空襲を記録する会代表 中田政子氏による空襲体験の語り</li> <li>・読み聞かせ 朗読グループ笙の会による音響効果を交えた大型絵本『神戸空襲の記憶』の読み聞かせ</li> <li>・読み聞かせ 図書館スタッフによる絵本『へいわってすてきだね』の読み聞かせ</li> </ul>	
<p>参加者の反応</p> <p>中田氏が語るお母様の体験談を参加者全員が真剣に聞き入っていた。また大型絵本の読み聞かせについても身じろぎもせず、本の世界へ引き込まれていた。終了後は参加者同士がお互いの体験を語り合う場にもなった。</p>	
<p>成果</p> <p>神戸空襲の体験者が少なくなり、語り部を務める方も高齢化が進んでいる。空襲や戦時下の暮らしについて聞く機会も少なくなっているため、戦争の体験や歴史が風化しないよう、子供たちにも身近な図書館で体験者の語りや絵本の読み聞かせを行うことで戦争を知らない世代にも神戸空襲の体験や地域住民の記憶を継承することができた。</p>	
<p>課題</p> <p>伝えたい次世代の子供の参加人数が少なかった (近隣の小学校と連携することも検討している。)</p>	
<p>取組で使用した素材について (図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>読み聞かせ 『神戸空襲の記憶』作・豊田和子 ※豊田氏制作のオリジナル大型絵本 (音響)太鼓、シンバル 『へいわってすてきだね』詩・安里有生 画・長谷川義史</p>	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	